

一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



五和会 成田 かつこ

●世界遺産登録後の課題について
●多子世帯への新米の支給について

問 縄文遺跡群のガイダンス施設を整備するまでの間、仮設トイレとベンチを設置するべきでは。また、歩道はダンブカーの往来が激しく砂利道で歩きづらい。来訪者への配慮を必要とするのでは。

【教育部長】

答 昨年7月の世界遺産登録後、多くの訪問があり、昨年の約1300人から今年は4100人を超える方々を案内した。団体客の来訪時は、しゃこちゃん広場のトイレでは対応しきれないことから、新年度に遺跡案内所の敷地内に仮設トイレを設置する。史跡内で休憩するためのベンチの設置も検討する。また、歩道については、所管する西北地域民局と協議しており、新年度に防雪柵の西側の地権者から市で借地し、暫定措置として幅約1・5mの歩道を県と一体となって整備したい。

問 秋になると非常に寒くなる。ポランテアガイドさん達へ「JOMON」の文字入りのダウンコート配布しては。

【教育部長】

答 ポランテアガイドには、オ

レンジ色の帽子とベストを支給している。11月になると、気温はかなり低下するため、冬用のユニフォームを支給したい。

問 世界遺産は後世に引き継ぐ責任がある。教育長の縄文遺跡に対する思いは。

【教育長】

答 小・中学校の9年間、縄文をテーマに学習することになっていく。子ども達には、市内に宝があることを誇りにしてほしい。

問 物価高騰は子育て世帯の家計を直撃している。子育て中の市民から「お米さえあれば助かる」という声を聞いている。本市は県内一の米どころであり、子ども3人以上の世帯に、子育て応援米の支給を提案する。

【市長】

答 現在の物価高は、家計に負担の大きいことは承知している。令和5年度において、子育て世帯の負担軽減支援策として、多子世帯への新米の配布事業を予算化した。



五和会 長谷川 榮子

●大雨被害について
●市街地の活性化について

問 8月の大雨被害による被災農家への支援金の申請者数と総額は。今後、農業資材、肥料の高騰に対して支援する考えは。

【経済部長】

答 申請者数は888人、支援金額は1億238万6000円。今後は、農林水産業者に対し事業を継続してもらうため肥料と光熱水費の高騰分を支援する。支援金の上限は100万円で、農業者は、農家台帳の経営面積50a以上の方を対象に10aあたり1100円。漁業者には漁船1隻あたり1万円。畜産業者には燃料高騰分の一部を助成する。2月に受付開始し、年度内に支払いたい。

問 市街地活性化の観点でいえば、つがる警察署の旧庁舎は景観上、好ましくない。いつまで今のような状態にしておくのか。

【経済部長】

答 県所有の警察署旧庁舎は、築51年経過しており、耐震性等の問題により、建物をそのまま使用することは危険であり、改修又は解体にも多額の費用を要するため取

得は考えていない。県には早急に解体するよう要望し、更地になった場合は商工会と活用方法を検討していきたい。

問 有楽町商店街旧プラザ周辺の現況は。三新田神社への参拝客などに安全は確保されているか。

【総務部長】

答 旧プラザ向かいの旧洋服店については、看板の破損や外壁の剥がれなどの通報を市民から受けていることから、所有者と連絡を取り、修繕撤去など適正な管理をお願いしている。

問 世界遺産登録後、多くの方々に来訪いただいているが、商店街の空き店舗における雑草対策は。

【市長】

答 商店街の見た目が悪いのはよくない。基本的に、民間の所有しているものには行政は手をかけられないが、商工会で行う草刈に市から助成するなど、商工会とやり方をしっかり詰めて対処したい。

一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



秋田 谷 建幸
あきた やたてゆき
五和会

●ハザードマップについて
●8月の豪雨災害について

問 8月の豪雨災害を受け、現在のハザードマップは岩木川をベースに作成されているが、山田川も考慮したマップを作成できないか。また、田光沼の決壊により冠水した面積は。

【総務部長】

答 山田川を管理する県によると、令和7年度までに、県管理の河川については氾濫した場合の想定区域を公表すること。公表後には、山田川を考慮に入れたハザードマップの作成は可能と考える。また、田光沼の決壊により約285haの水田が冠水した。

問 今回の災害にあたり、市では激甚災害の指定等を要望しているが、国県に対し今一度強く要望できないか。

【市長】

答 災害に対する要望については、被災者の農業制度資金の借入利息の軽減や農地・農業用施設の復旧支援などを国県へ要望している。災害復旧は原形復旧を基本とするが、山田川水系の堤体をかさ上げ

した改良復旧をするよう国県に強く要望している。

問 今回の豪雨で、冠水による通行止めは何箇所あったか。冠水した箇所の水位はどれくらいか。

【建設部長】

答 県道で6箇所、市道及び農道で12箇所である。県道については県と排水系統などの課題について対策を協議している。市道についても現状可能な対策から実施していく。また、冠水箇所の水位は詳細に計測したデータはないが20〜30cm位と思われる。

問 災害時の避難は、通行止めによりスムーズに移動できないことも考えられる。20cm位であればかさ盛りすることにより、通行止めを回避できるのでは。

【建設部長】

答 市道はもちろん、県道についても関係機関と連携して、かさ盛り等も含めて対策を検討し、安全な交通の確保に努める。



齋藤 渡
さいとう わたる
しんかい 絆心会

●農作物の被害状況について
●選挙における投票傾向について

問 冠水により収量、品質とも低下し、収入の激減した農家に対する支援は。また、水没米として区分出荷した米の等級が規格外になった場合、出荷数量にカウントされるか。

【経済部長】

答 収入減は収入保険等で対応すべきであるが、収穫した米の品質により引き取らない場合もある。追加の見舞金等を検討する。また、規格外となった場合は、主食用米、加工用米、飼料用米のいずれにもカウントされない。

問 昨年の米価下落や肥料・資材高騰等で農地の流動化が進むと考える。農地の賃借件数と賃借料、売買件数と価格は。

【農業委員会事務局長】

答 令和3年度の賃借件数は519件、賃借料は10aあたり平均1万7500円、売買件数は119件、価格は25〜40万円。賃借料については、2年度と比較して約5000円減少している。

問 農地中間管理機構を通して10

年間の貸借契約を締結した場合、契約途中で賃借料の変更や契約解除は可能か。

【経済部長】

答 賃借料の変更や契約解除は可能であるが、離農協力金の返還や農業者年金の加算を停止される場合もあり注意を要する。

問 直近の選挙における期日前投票者数は。また、最も多く有権者の利用した投票所は。

【選挙管理委員会事務局長】

答 今年の参議院選挙では、有権者数2万7029人に対し、投票者数は1万3168人、うち期日前投票者数は7960人。また、最も多く利用された期日前投票所は、イオンモールつがる柏であった。

問 高齢者には、投票所に行く交通手段のない方もいる。対応策は。

【選挙管理委員会委員長】

答 他自治体の事例を収集し、効果的で実現可能な策があれば採用していく。